

授業科目

臨床検査総論実習I

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 長濱 大輔 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 臨床 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 45 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ○ | | ○ |

授業の概要

臨床検査総論の大部分を占める一般検査は、定性・半定量検査を主法としたスクリーニング検査である。現在、尿検査のほとんどが簡便な試験紙法で行われている。検査の臨床的意義の把握は勿論のこと、操作法の習得、原理、測定上の注意点、感度、特異度等についても理解を深める。

授業の目的

採血法を始め、多くの尿検査法、腎機能検査の実技(実際)を通じて、その臨床的意義・原理の把握を確実に習得する。そして、症例検討を経験しながら一般検査結果の評価能力を高める。

学習目標

1. 採血の方法や注意点を説明できる。
2. 各種の尿検査の実際とその原理、そして臨床的意義について説明できる。
3. 腎機能検査法の種類、方法・原理・臨床的意義について説明できる。
4. 一般検査結果の解釈について説明できる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|-------|----------------------------------|--------------|-------|
| 1、2 | 採血法と検体の取り扱い方法 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 3、4 | 尿コントロール液(人工尿)の作製 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 5、6 | 尿試験紙の特徴、使用方法と注意点 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 7、8 | 尿の性状と物理的検査 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 9、10 | 尿タンパク定性・半定量・定量検査、微量アルブミン定性・半定量検査 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 11、12 | 尿糖定性・半定量・定量検査 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 13、14 | 尿ケトン体・ビリルビン・ウロビリノゲンの定性・半定量検査 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 15、16 | 血尿の証明法(潜血反応と尿沈渣中赤血球) | 実習 | 長濱 大輔 |
| 17、18 | BJPの定性試験、微量アルブミン定性・半定量検査 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 19、20 | 腎機能検査、尿中薬剤性物質 | 実習 | 長濱 大輔 |
| 21、22 | 症例検討(一般検査データの評価) | 実習 | 長濱 大輔 |
| 23 | 実技まとめ | 実習 | 長濱 大輔 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|-----------------|-----------------|--------------|-------|--------|-----|
| 教科書 | 最新臨床検査学講座 一般検査学 | 宿谷 賢一、三村 邦裕 他 | 医歯薬出版株式会社 | 2016年 | 2,800円 | |
| 参考書 | 尿検査 その知識と病態の考え方 | 河合 忠、浅野 泰、伊藤 善久 | メディカル・ジャーナル社 | 1992年 | 2,427円 | |
| | 標準臨床検査学 臨床検査総論 | 伊藤機一、松尾収二 | (株)医学書院 | 2013年 | 3,000円 | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

- レポート (10%)
定期試験 (90%)

履修上の留意点

臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるまで繰り返し行うこと。

オフィスアワー・連絡先

nagahama@nuhw.ac.jp